平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場会社名　四国化成工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4099　URL　http://www.shikoku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長 兼 C. E. O.　(氏名) 山下　矩仁彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　企画・管理担当　(氏名) 富田　俊彦　TEL 0877-22-4111

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	31,246	3.3	3,901	2.7	4,080	6.8	2,461	19.4
24年3月期第3四半期	30,250	△2.2	3,798	△12.7	3,820	△8.5	2,061	4.0

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　2,339百万円　(37.0%)　24年3月期第3四半期　1,708百万円　(2.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	42.11	―
24年3月期第3四半期	35.26	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	60,849	40,230	65.7	684.44
24年3月期	60,797	38,521	62.9	654.54

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　40,004百万円　24年3月期　38,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―	5.00	―		
25年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	1.6	5,000	1.6	5,100	1.8	3,000	10.5	51.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	58,948,063 株	24年3月期	58,948,063 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	499,519 株	24年3月期	491,277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	58,452,392 株	24年3月期3Q	58,463,297 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

頁

１．当四半期決算に関する定性的情報.....2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報.....2

(2)　連結財政状態に関する定性的情報.....4

(3)　連結業績予想に関する定性的情報.....4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項.....4

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....4

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....4

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....4

３．四半期連結財務諸表.....5

(1)　四半期連結貸借対照表.....5

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....7

(3)　継続企業の前提に関する注記.....9

(4)　セグメント情報.....9

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や、政府の経済対策などを背景に個人消費が持ち直すなど、景気は緩やかな回復を続けておりましたが、電力供給不足への懸念や、長期化する円高や株安の進行による企業業績の下振れ懸念、欧州経済の低迷や中国経済の減速に加え領土問題の顕在化もあり、景気は先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年12月31日）の売上高は312億46百万円（前年同期比3.3％の増収）と、前年の水準を上回りました。また、営業利益は39億１百万円（前年同期比2.7％の増益）、経常利益は40億80百万円（前年同期比6.8％の増益）、四半期純利益は24億61百万円（前年同期比19.4％の増益）といずれも増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化学品事業

(無機化成品)

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、タイヤの減産などにより国内販売が低調でしたが、輸出が好調に推移しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は、国内販売が低調でしたが、輸出は好調に推移しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、濃縮液体洗剤の普及により粉末洗剤用途向けの販売が低調となりました。

(有機化成品)

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は、海外市場における市場価格の下落により、輸出が低調に推移しました。排水処理剤ハイポルカは市場開拓と採算性の改善に注力しました。

(ファイン　ケミカル)

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは、プリント基板メーカーの海外シフトなどにより、国内販売が伸び悩みましたが、輸出が好調に推移しました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、輸出が低調でしたが、国内販売が好調に推移しました。

この結果、化学品事業の売上高は183億27百万円（前年同期比1.3％の増収)と、前年を上回りましたが、原材料価格の上昇などもあり、セグメント利益は31億７百万円（前年同期比9.2％の減益)となりました。

②建材事業

(壁材)

湿式壁材市場の停滞により、内装材を中心に低調に推移しました。

(エクステリア)

新設住宅着工戸数の回復傾向により建築需要が増加する中、住宅分野、景観分野ともに、前年を上回る水準で推移しました。

この結果、建材事業の売上高は123億39百万円（前年同期比6.9％の増収)、セグメント利益は17億87百万円（前年同期比21.0％の増益)となりました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称		前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	前年同期比(%)
化学品事業				
無機化成品	（百万円）	6,874	6,989	101.7
有機化成品	（百万円）	5,272	5,252	99.6
ファイン　ケミカル	（百万円）	5,945	6,085	102.4
小計	（百万円）	18,092	18,327	101.3
建材事業				
壁材	（百万円）	2,054	1,925	93.7
エクステリア	（百万円）	9,487	10,413	109.8
小計	（百万円）	11,542	12,339	106.9
報告セグメント計	（百万円）	29,635	30,666	103.5
その他	（百万円）	615	579	94.1
合計	（百万円）	30,250	31,246	103.3

（注）　上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	
	売上高（百万円）	連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	売上高（百万円）	連結売上高に占める海外売上高の割合(%)
アジア	5,007	16.6	5,440	17.4
北米	2,610	8.6	2,748	8.8
その他の地域	631	2.1	596	1.9
合計	8,249	27.3	8,785	28.1
連結売上高	30,250		31,246	

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末比51百万円増加し、608億49百万円となりました。主な増加は、機械装置及び運搬具(純額)12億70百万円、主な減少は、受取手形及び売掛金15億15百万円、建設仮勘定９億９百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比16億57百万円減少し、206億19百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金５億51百万円、未払法人税等３億４百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比17億８百万円増加し、402億30百万円となりました。主な増加は、利益剰余金18億76百万円、主な減少は、その他有価証券評価差額金１億22百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.9%から65.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、当初の計画(平成24年４月26日発表)を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、78円／米ドル、100円／ユーロと想定しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,742	8,706
受取手形及び売掛金	14,094	12,579
商品及び製品	5,642	6,003
仕掛品	105	123
原材料及び貯蔵品	2,132	1,967
繰延税金資産	657	708
その他	171	117
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,545	30,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,939	5,077
機械装置及び運搬具（純額）	2,474	3,744
土地	8,597	8,554
建設仮勘定	1,582	672
その他（純額）	434	359
有形固定資産合計	18,027	18,408
無形固定資産	263	240
投資その他の資産		
投資有価証券	9,906	9,900
繰延税金資産	1,436	1,499
その他	637	613
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	11,961	11,995
固定資産合計	30,252	30,644
資産合計	60,797	60,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,150	7,598
短期借入金	2,050	1,975
1年内返済予定の長期借入金	845	922
未払法人税等	876	571
役員賞与引当金	57	41
その他	3,855	3,200
流動負債合計	15,835	14,309
固定負債		
長期借入金	1,974	1,899
繰延税金負債	5	―
再評価に係る繰延税金負債	1,628	1,628
退職給付引当金	1,992	1,909
役員退職慰労引当金	296	311
資産除去債務	345	346
負ののれん	0	0
その他	196	213
固定負債合計	6,441	6,309
負債合計	22,276	20,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	23,711	25,588
自己株式	△290	△293
株主資本合計	36,030	37,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306	184
繰延ヘッジ損益	△37	△72
土地再評価差額金	2,224	2,224
為替換算調整勘定	△262	△236
その他の包括利益累計額合計	2,231	2,100
新株予約権	39	―
少数株主持分	219	225
純資産合計	38,521	40,230
負債純資産合計	60,797	60,849

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	30,250	31,246
売上原価	19,082	19,895
売上総利益	11,168	11,351
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,096	2,270
広告宣伝費	474	458
給料	1,392	1,397
役員賞与引当金繰入額	39	41
退職給付費用	152	142
役員退職慰労引当金繰入額	35	33
研究開発費	745	759
その他	2,432	2,345
販売費及び一般管理費合計	7,369	7,450
営業利益	3,798	3,901
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	267	243
為替差益	－	24
雑収入	22	18
営業外収益合計	297	296
営業外費用		
支払利息	34	26
売上割引	79	88
為替差損	154	－
雑損失	6	3
営業外費用合計	275	117
経常利益	3,820	4,080
特別利益		
受取保険金	－	50
新株予約権戻入益	－	39
特別利益合計	－	90
特別損失		
固定資産除却損	53	21
減損損失	－	43
投資有価証券評価損	－	87
特別損失合計	53	152
税金等調整前四半期純利益	3,766	4,017
法人税等	1,692	1,544
少数株主損益調整前四半期純利益	2,074	2,473
少数株主利益	12	11
四半期純利益	2,061	2,461

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,074	2,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△559	△124
繰延ヘッジ損益	1	△34
土地再評価差額金	229	－
為替換算調整勘定	△37	26
その他の包括利益合計	△365	△133
四半期包括利益	1,708	2,339
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,695	2,330
少数株主に係る四半期包括利益	12	9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,092	11,542	29,635	615	30,250	－	30,250
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	152	154	△154	－
計	18,094	11,542	29,636	768	30,405	△154	30,250
セグメント利益	3,421	1,477	4,899	40	4,939	△1,140	3,798

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△1,140百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,140百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,327	12,339	30,666	579	31,246	－	31,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	－	2	160	162	△162	－
計	18,329	12,339	30,669	740	31,409	△162	31,246
セグメント利益	3,107	1,787	4,894	66	4,960	△1,059	3,901

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△1,059百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,059百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しておりますが、各セグメントのセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。